

2023年（令和5年）
3月1日 水曜日
第1907号

京都自動車新聞



京ト協 物流セミナー開く
京自健保 第147回「組合会」
ピクトリー自動車 50周年記念式典
AIRオートクラブ 研修と新年会
◀ 京整振 女性セミナーを開催

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内） 電話（075）672-0552 ファクス（075）682-0205 メール access@kyotojidosha-np.jp

新副会長・副支部長に山本氏

京自販 新理事には小林氏と芳賀氏
自販連京都

京都府自動車販売店協会・自販連京都府支部（澤井孝之会長・支部長）は2月17日、リーガロイヤルホテル京都で定時総会を開き、提出された全議案を原案通り承認。協会・支部の役員選任については、新副会長・副支部長に、山本宏樹氏（トヨタカローラ京都㈱）、新理事に、小林康氏（京都三菱自動車販売㈱）、芳賀将英氏（京都トヨタ自動車㈱）を選任した。（関連記事6面）

冒頭、澤井会長は「コ」が徐々に再開されたことにより、若干の明るさも見え始めている。また5月には新型コロナウイルスの感染状況が直ぐに直され、経済活動も一層本格化するだろう。われわれも今年度に予定する事業活動は予定通り進められる事を期



提出全議案を承認した総会

待する」と強調した。続けて、「昨年4月から始まった新規OSSは、12月末時点の利用が22社、19・2%、会員全体では18・2%となり、確実に利用が進んでいる。3月末には目標である30%以上を目指すので、ご協力をお願いしたい」と呼び掛けた。総会議案は、①2022年度事業報告書並びに収支決算報告書②23年度事業計画書（案）並びに収支予算（案）③役員選任の3議案。

京都から35人が受賞

近畿運輸局 自動車関係功労者表彰

近畿運輸局は2月17日、自動車関係功労者表彰式を開き、自動車関係業界の発展に長年寄与してきた経営者、従事者らをたたえた。京都からは自動車交通部関係（貨物運送、バス、関係団体）から8人、自動車技術安全部関係（販売、整備、関連）から27人が表彰された。（受賞者は3面、7面に掲載）

追跡 データベース

― 東京商工リサーチ編 ―

倒産数、対前月でも増 12月 コロナ破綻は危険域へ

昨年12月の負債額100万円以上の全国企業倒産件数は、前年同月比20・2%増の606件と9カ月連続で前年を上回った。対前月では3カ月ぶりに増加に転じ、増勢を強めている。このうち京都は24件。東京商工リサーチがこのほど公表した。

産業	倒産件数	
	12月	前年同月比(増率)
農・林・漁・鉱業	9	125.0%
建設業	109	±0.0%
製造業	77	32.75%
卸売業	84	23.52%
小売業	66	22.22%
金融・保険業	1	±0.0%
不動産業	20	42.85%
運輸業	36	63.63%
情報通信業	17	13.33%
サービス業ほか	187	17.61%
合計	606	20.23%

業、小売業は増加し、建設業、金融・保険業は前年と同数だった。一方、20年2月以降に起こったコロナ関連の経営破綻は、2月24日現在で5570件（負債1000万円未満）と2カ月連続で月別最多件数を更新する事態に陥っている。業種別では、飲食業が突出し、建設業、パレル製造・販売、飲食料品卸売業、宿泊業の4業種がこれに追随する状況は変わらな



今後、コロナ関連融資の返済、運転資金の調達に主眼となるが、ここに原材料価格や人手不足でコストアップが加わり、倒産リスクは高まる一方。コロナ破綻は依然増勢が続くとみられる。

22年度の事業は、コロナ禍が3年目を迎え、定期的に感染拡大は見られ、たが、徐々に各種事業を再開し、協会創立70周年の記念式典、ディーラー合同試走会や中古車フェアなども実施。委員会・部会も、集合形式による勉強会や研修会なども積極的に行なった。特に、1月から始まった自動車車検証の電子化、記録等事務代行制度では、新制度による会員各社への影響が大きくなることを考慮

し、10月に登録・サービス部門の責任者を対象とした説明会を開き、制度の概要や留意点について情報提供を実施した。一方、23年度の事業計画では、コンプライアンス等の確保を最重要項目に据え、カーボンニュートラルの実現やDX（デジタルトランスフォーメーション）の進展に加え、コロナ禍などの経済社会環境の急速な変化に対応し、会員企業の更なる発展と安定を目指す事

sienta

トヨタカローラ京都

京都市中京区西ノ京南大炊御門町1-1
TEL 075-463-1111 <https://www.corolla-kyoto.com/>